

JIS

UDC 661.183.7.004.14

K 1150

シリカゲル試験方法

JIS K 1150⁻¹⁹⁹⁴

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 6 年 8 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 6.8.1

官報公示：平成 6.8.1

原案作成協力者：シリカゲル工業会

審議部会：日本工業標準調査会 化学製品部会（部会長 小見山 二郎）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

シリカゲル試験方法

K 1150-1994

Test method for silica gel

1. 適用範囲 この規格は、工業用シリカゲルの試験方法について規定する。

備考 この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. 試験項目 試験項目は、次のとおりとする。

- (1) 比表面積
- (2) 細孔容積
- (3) 平均細孔直径
- (4) 水蒸気吸着等温線
- (5) 吸着分離能
- (6) 定量試験
 - (6.1) 乾燥減量 (含水率)
 - (6.2) 強熱減量
 - (6.3) シラノール基数
 - (6.4) 二酸化けい素 (SiO_2)
 - (6.5) 酸化鉄 (II) (Fe_2O_3)
 - (6.6) 酸化アルミニウム (Al_2O_3)
 - (6.7) 酸化ナトリウム (Na_2O)
 - (6.8) 酸化カルシウム (CaO)
 - (6.9) 酸化マグネシウム (MgO)
 - (6.10) 塩化コバルト (II) (CoCl_2)
- (7) 粒度分布
- (8) 耐水能
- (9) 粒子強度
- (10) かさ密度
- (11) 電気伝導率
- (12) pH値
- (13) 青ゲルの変色域

3. 試料採取方法 試料の採取は、JIS M 8100によって、ロットを代表するように採取する。

4. 一般事項 試験において共通する一般事項は、JIS K 0050、JIS K 0115、JIS K 0121及びJIS K 0124による。

5. 試験方法